

活動日誌

10月22日から24日、島根県タウンプラザにおいて島根県全議会議員研修及び町独自の視察研修(鳥取県智頭町)を実施しました。研修は講演が2テーマ、「住民自治の根幹としての議会力・議員力の発揮へ」と「防災・減災と議会の役割」と題した講演をいただきました。

島根県町村議会 議員研修 ←



視察研修

西粟倉村森の学校 ←



森の学校、木材加工販売等



旧学校体育館利用ウナギの養殖場

山陰海岸ジオパーク館 ←



鳥取県智頭町議会視察 ←

海士町と職員交流の協定を交わしている智頭町さんへお邪魔しました。議会基本条例、森のようちえん、給食センター等について視察研修させていただきました。



財政支援団体監査

11月6日から9日の間、海士町財政支援団体への海士町監査委員による監査が実施されました。



11月

- 食の感謝祭
- 財政支援団体監査
- 近畿島根県人会
- 子ども議会合同勉強会
- 例月出納現金監査
- 産業文化祭
- 地方議会活性化シンポ
- 離島振興全国町村議長会
- 全国町村議長大会
- ホテル建設調査特別委員会

12月

- けいしょう学園生活発表会
- 例月出納現金監査
- 議会全員協議会
- 12月定例議会
- 島前町村組合12月定例会
- 隠岐広域連合12月定例会

編集後記

皆様には穏やかに新年をお迎えになられたこととお慶びを申し上げます。どのような1年になるのか、誰しも気になるところではありますが、今年は何となくとも新元号の施行ではないでしょうか。元号は時代を反映する2文字です。さて平成に次いで248番目は…。

本町では、町制施行50年の節目となります。1969年1月1日に海士郡海士村から海士郡海士町へ、同年4月1日に郡が統合されて隠岐郡海士町となりました。当時中学生だった私は「ドタバタ」しながら住所を書いた記憶が残っています。50周年が大いに盛り上がり、海士町がさらに飛躍することを願っています。

この1年が皆様にとりまして健康で幸多い年でありますようお願いいたします。

(杵築 泰久 記)



議会だより

年頭のごあいさつ

謹んで新春のお祝いを申し上げます。

日頃は、海士町議会に對しまして、ご協力・ご支援を戴き心より御礼申し上げます。

昨年 6 月には、「自立・挑戦・交流」の指針を掲げ 4 期 16 年続いた山内町政から、大江町長に引き継がれたのはご承知の通りで、「自立・挑戦・交流」の指針は継承しながら「心ひとつに！みんなでしゃばる島づくり」のキャッチフレーズで、既に 7 カ月余が経過し、当初予算の対応に苦慮しながら、東奔西走の日々を過ごされている昨今ではありますが、政策面では新年度予算に於いて斬新な具体策が提示されるものと期待をしているところです。

私の記憶する範囲では、昭和 44 年の町制施行以来、60 歳未満の首長が誕生したのは初めてであり、まさに新進気鋭の首長であります。

議長 古濱 正之

平成から元号が変わる本年、新町長・議会改選と新たな政策集団となることに、時代の変革を感じるのは、私だけでしょうか？

今年は、亥の年でもあり、猪突猛進の対応で住民本位の公平、公正な執行が余儀なくされることは論を俟たないところでありませう。

一方では、全国的な町村議会の課題として、議員のなり手不足、無投票が問題となっており、多くの町村議会に於いても、いろいろと工夫、研鑽に努め、過去の執行部追従型議会から住民の意見を勘案した提案型議会になるべく試行錯誤の対策を重ねており、海士町議会でも、住民対話や、災害時における情報共有、町長への反問権等々を盛り込んだ議会基本条例策定の検討を行っており、3 月定例議会にて提案できるよう取り組んでいます。



本年 4 月には、知事・県議・町村議会の統一地方選挙の年であり、海士町議会議員の改選期でもあります。当議会の構成年齢は 70 歳以上が 8 割を占めており、改選期を機に多くの若者に立候補いただき、基本条例の下、住民と問題点を共有し提案型議会となるよう新たな発展に取り組んで、地方創生に繋げていただきたいと望むところです。

社会情勢は誠に厳しいものがありますが、議会としては住民の皆様のご期待に添うべく研鑽に努め、「一歩下がって、二歩下がらず」議会の権能を堅持しながら、「両輪の如く」町政発展に寄与してまいります。

町民の皆様の一層のご支援、ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。併せて本年が皆様にとりまして実り多い年でありませうようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます



【後列左から】 扇谷光恵 波多紀昭 上田正子 高松照佳 松田修一
【前列左から】 中村等光 柏原広行 古濱正之 杵築泰久 亀谷 潔